

【緑地の樹】

アベリア(ハナゾノツクバネウツギ)

プロフィール:スイカズラ科の半常緑低木
花広場の入口入ってすぐに生えています。

8月も終わりにになると、もう花の咲いている木はないなあと花広場を見回すと・・・ありました、ありました！

小さい白い花がいっぱい咲いています。ハナゾノツクバネウツギです。でも、あまりに長い名前なのでアベリアと呼ばれることが多いようです。花の時期は晩春だと思っていたので、この時期に咲いているのは意外でしたが、なんと10月頃まで次々と花を咲かせてくれるそうです。それでよく街の植え込みとして使われているとか。



花が落ちた後のガク

実は私は花も好きですが、花が落ちた後に残されたガクの雰囲気大好きなのです。お正月の羽根つきに使うツクバネのようで、名前の由来ともなっています。本家の「ツクバネウツギ」という花もありますが、それよりも花がいっぱいついて花園のようなので、こんな長い名前となってしまうのですね。さてそのガクですが、小さいけれど躍動感があり、色もピンクや淡いオレンジ、かわいいでしょう？

(小川)